

# 『自動更新ツール』 WMAutoUp.exe 説明書

2023 年 5 月 16 日  
株式会社ウィンテック

本ツール (WMAutoUp.exe) は、MX-6000 C T I アダプター内部の各種制御ソフト、パラメータ定義ファイルを最新版に一括更新する為の自動更新ツールです。

各ボード内の制御ソフトのバージョンをチェックし、バージョンが古い場合のみ更新処理を実行します。  
※旧USB1.1版本体、現行のUSB2.0版本体の両方に対応します。

## 準 備

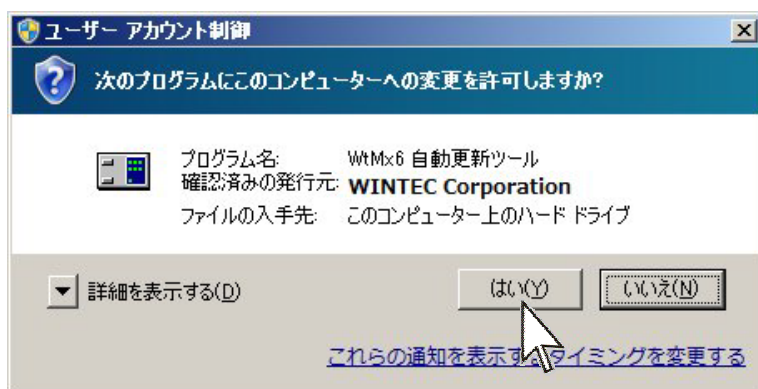
MX-6000とUSB接続されているPCのCTIアプリケーションを終了させてください。  
アプリケーション終了後、MX-6000のUSB表示が「**橙点灯**」となっている事を確認してください。  
※アプリケーションがWindowsサービスで起動している場合には、サービスの停止が必要です。

自動更新実行中は回線制御が停止しますので着信が無い時間帯で行ってください。  
更新に要する時間は、実装されている回線ボードの種類により異なりますが、概ね「**1分**」程度です。

## 自動更新ツールの起動

WMAutoUp.exe をダブルクリックにより起動してください。  
ユーザーアカウント制御画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。  
次ページの自動更新開始確認画面となります。

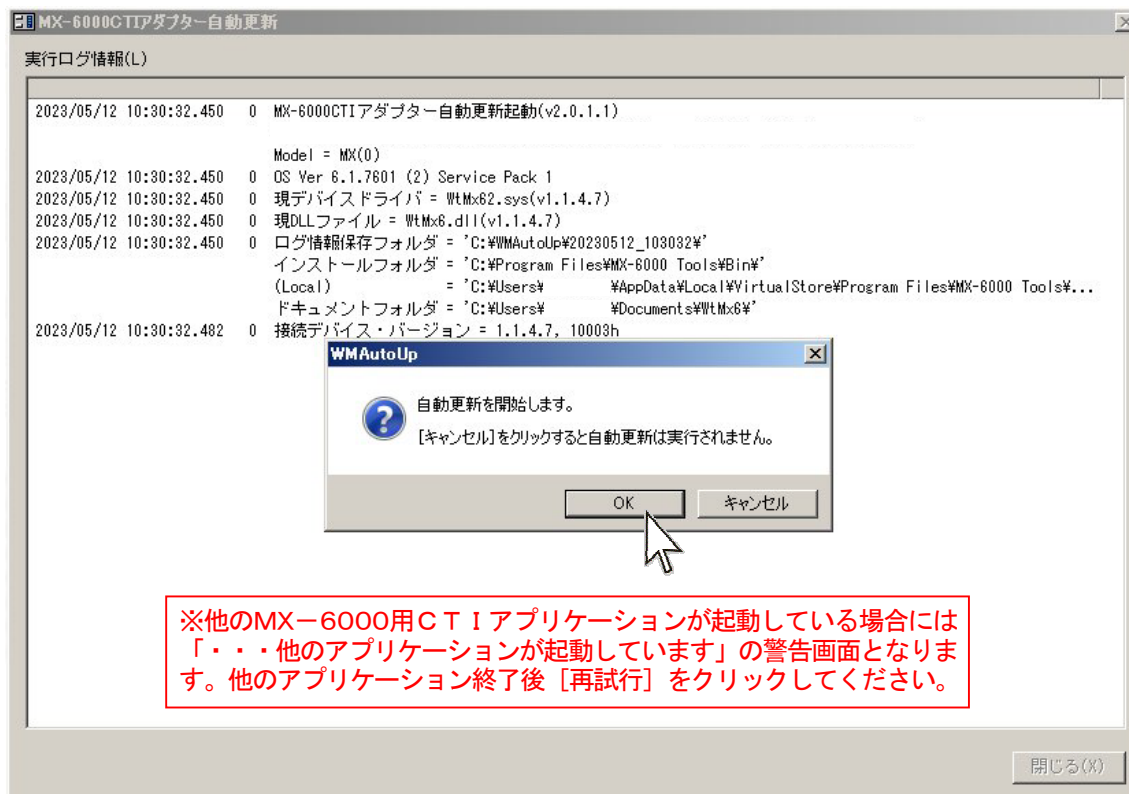
※本画面は、WindowsOSにより若干異なります。  
※ファイルの保存場所によっては本画面の前にWindowsセキュリティ警告画面となる場合があります。  
その場合には「**実行**」を選択してください。



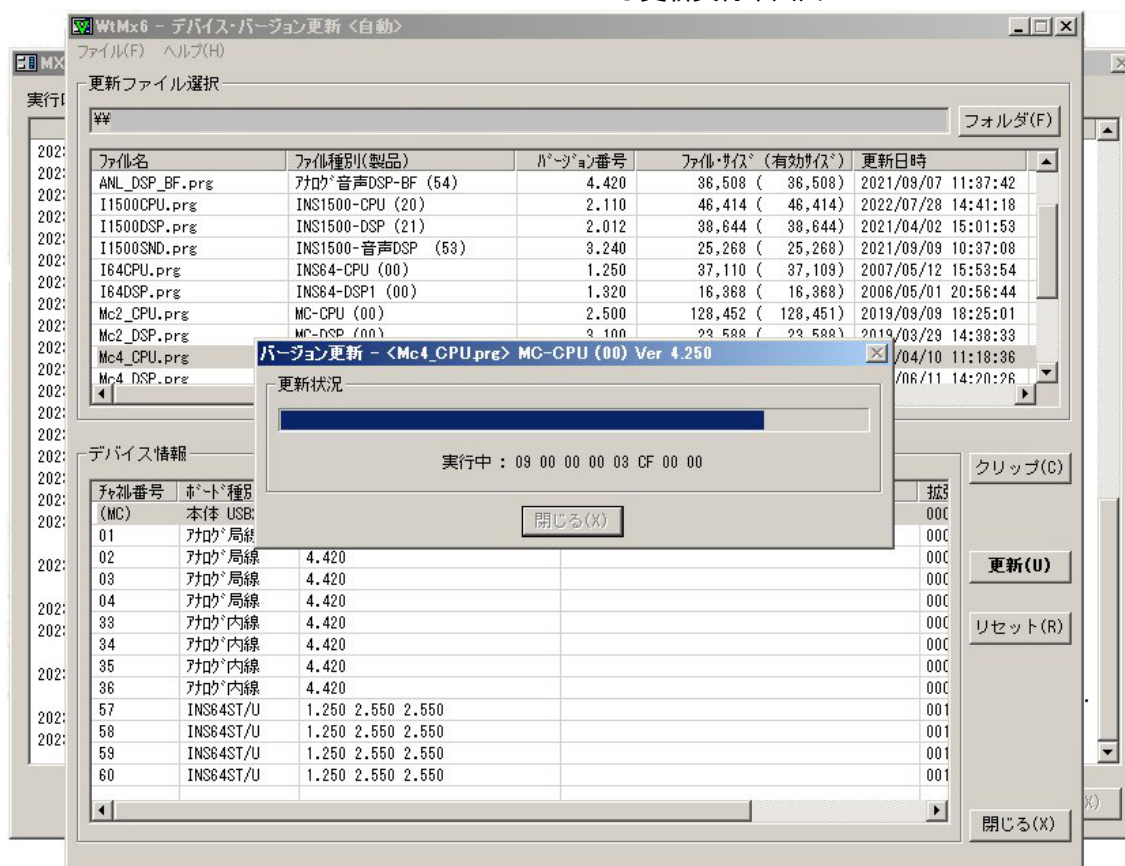
※「いいえ」をクリックしますと「プログラムの起動に失敗しました」と表示されますので「OK」をクリックして終了させてください。

## 自動更新処理の開始

[OK] クリックにより更新処理が開始します。  
以降、更新処理が全て終了するまで操作は有りません。

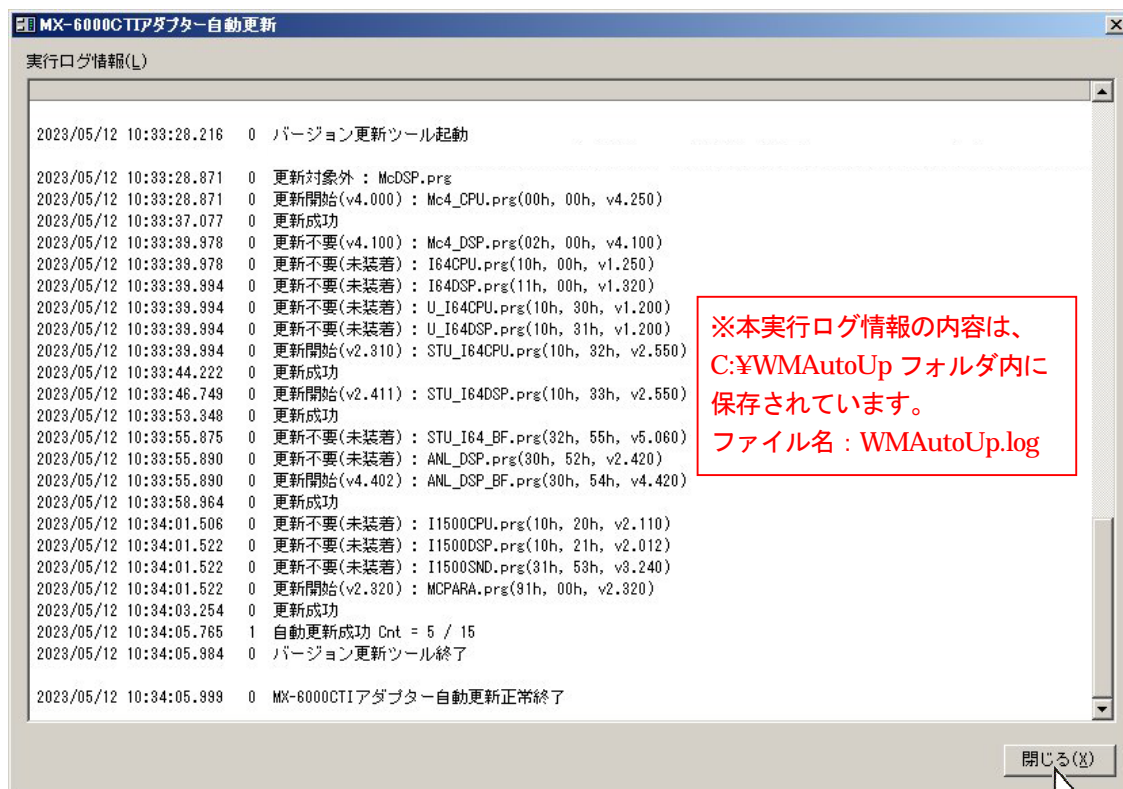
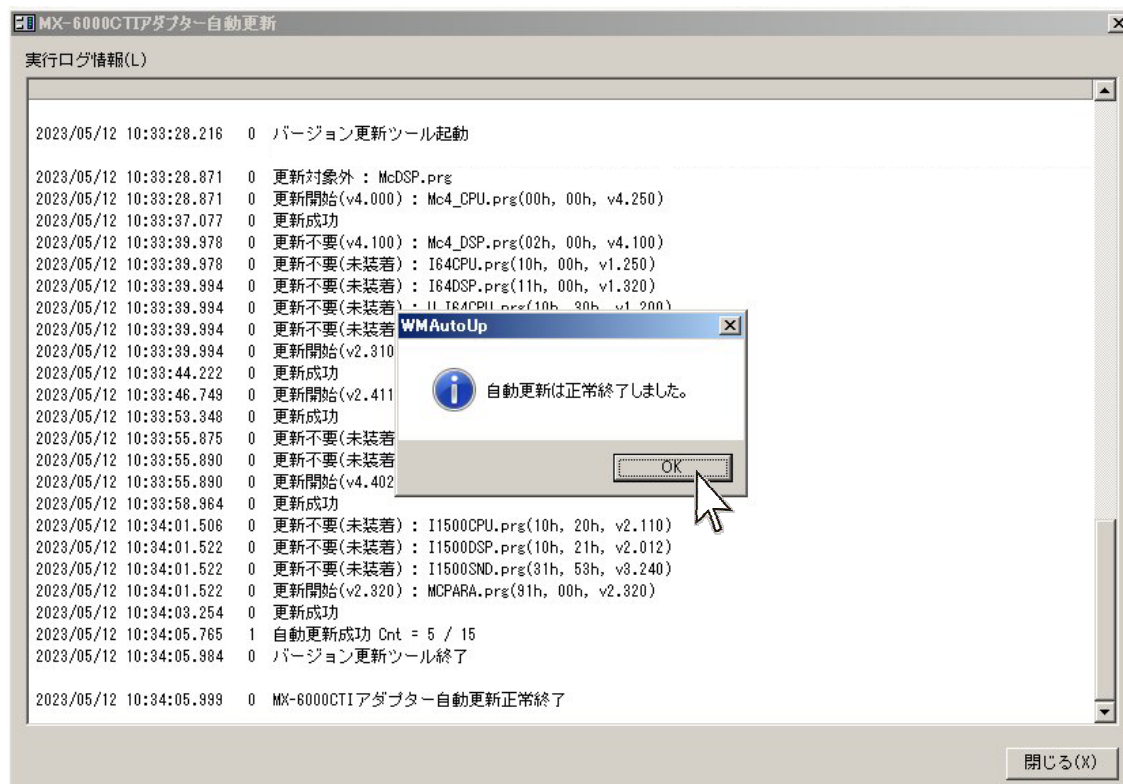


## ●更新実行中画面



## 自動更新処理の終了

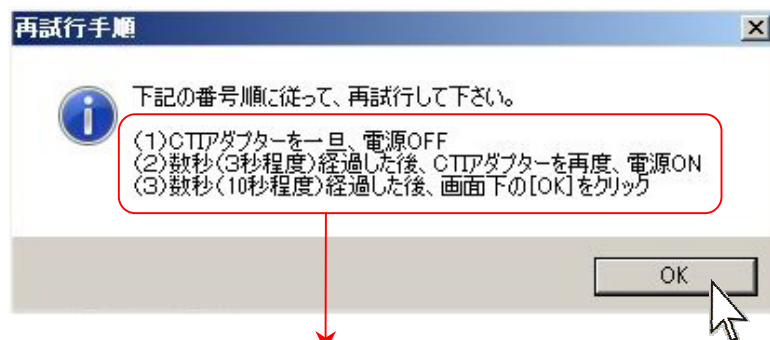
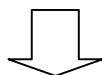
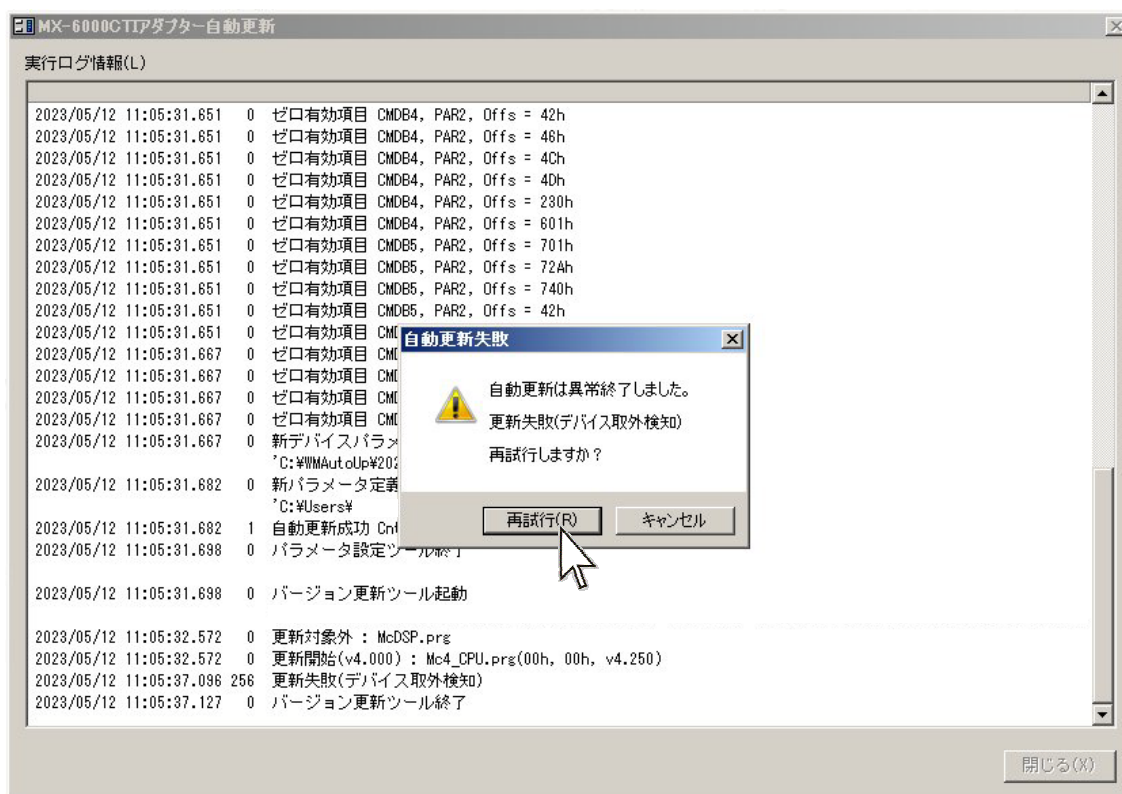
- 全ての更新処理が正常終了しますと「自動更新は正常終了しました」のメッセージが表示されます。  
[OK] ボタンをクリックしてください。



- [閉じる] ボタンクリックにより画面を閉じてください。以上で終了です。  
CTIアプリケーション起動後、動作を確認してください。

## ●自動更新処理の異常終了

更新処理中に「USB通信上の一時的なトラブル（デバイス取外し）」、「MX-6000のリセットが発生」等により更新処理が失敗した場合には、「自動更新失敗画面」となり「再試行しますか?」と表示されますので[再試行]をクリックし、表示される指示に従い操作してください。



- (1) CTIアダプターを一旦、電源OFF
- (2) 数秒(3秒程度)経過した後、CTIアダプターを再度、電源ON
- (3) 数秒(10秒程度)経過した後、画面下の[OK]をクリック

電源OFF/ON完了後、[OK] クリックにより更新失敗した箇所から更新処理が再開されます。

※誤って再試行せず終了させた場合でも、WMAutoUp.exe の再実行時に修復有無の確認画面となりますので修復を実行してください。